

令和2年

第15回 会津美里町教育委員会議事録

12月臨時会

令和2年12月臨時会

- I. 日 時 令和2年12月16日(水) 午前10時
- I. 場 所 会津美里町役場 本庁舎 2階 大会議室
- I. 出席委員
- | | |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 新 田 銀 一 |
| 委 員 | 小 関 れい子 |
| 委 員 | 須 田 健 志 |
| 委 員 | 武 藤 周 一 |
| 委 員 | 明 田 安 弘 |
- I. 出席説明者
- | | |
|-------------------------|-----------|
| 教 育 文 化 課 長 | 松 本 由 佳 里 |
| 教 育 文 化 課 主 幹 兼 指 導 主 事 | 金 川 純 |
| 教 育 文 化 課 長 補 佐 | 渡 部 雄 二 |
| 教 育 文 化 課 長 補 佐 | 鵜 川 晃 |
- I. 傍 聴 人 な し

令和2年12月臨時会次第

1. 開会

2. 協議事項

- (1) 本町学校教育が抱える課題等について
- (2) 令和2年度成人式の開催について
- (3) その他

3. 報告事項

- (1) ICT支援員業務委託等について
- (2) その他

4. 閉会

○開会時刻 午前10時03分

1. 開会

教育文化課長 令和2年第15回会津美里町教育委員会12月の臨時会を始めたいと思います。教育長、よろしく申し上げます。

教育長 ただいまより令和2年第15回会津美里町教育委員会12月臨時会を始めます。会期は1日といたします。出席委員は委員全員であります。出席説明者は、松本教育文化課長、金川主幹兼指導主事、渡部教育文化課長補佐、鶴川教育文化課長補佐の4名です。議事録署名人は、出席委員全員でお願いいたします。

2. 協議事項

教育長 それでは、レジュメに従いまして、協議事項に入らせていただきます。協議事項、その他含めて3つあるのですが、まず、(2)番目の令和2年度成人式の開催について、結論を出さなくてはなりませんので、(2)から協議に入らせていただきます。事務局から(2)、成人式の開催についての説明をお願いします。

教育文化課長 それでは、課長補佐が説明いたします。

教育文化課長補佐 ((2)「令和2年度成人式の開催について」資料により説明)

教育長 ありがとうございます。
今説明のあったとおり、出席見込みについては1)のとおりです。会津管内を除くと大体20名近くになりますか。
それから、2)から4)まで、これは実施すると仮定した場合の対策ということで、今日ここでご意見をいただきたいのは、5)番目、今日現在のところでどういう判断がいいか、今日現在のところで実施すべきだろうということになれば、2)のほうに流れることになるかと思います。
5)番目で、最終的には町長の判断となっておりますが、成人式そのものが教育委員会と町の共催となっておりますので、教育委員会の意見をここでいただければ、それを町長に報告し併せて判断してもらおうと、そういう意味です。
そこで、これだけの状況が今騒がれているところでもありますので、簡単に一人ひとり意見聞いていいですか。
では、委員のほうから成人式の実施の可否について、医療従事者の立場から。

委員

では、ちょっと重大です。

まず、医療関係者として話をした場合に、今福島県の現状、全国もそうなのですから、思っていたよりも増えているのです。今県内でコロナの患者さんを受け入れるベッド数は469あるのです、県内で。12月14日現在で100人を超えて469床のうち22.4%の入院になっているのです。今日現在で113人に増えていて、福島赤十字病院も昨日4人延ばして、恐らく何人かもっと出ると思います、院内感染なので。そうなると、あっという間に、12月14日にステージ1から2に上げて、病床利用率が22%を超えたので2に上がったのです。今度2から3に上がる時というのは、確保ベッド数469床中25%、ですから118床を入院患者が超えるとステージ3になるのです。ステージ3にいったら、それからあともう30%超えるとステージ4になって、もうステージ4が最高ですから、最高の段階までもうあっという間に上がってきているのです。そういう感じになってクラスターがあるからだと思いますが、かなり病床利用率が逼迫してくる状況があって、ステージ3にあげれば、もう全ての469床受け入れる病院が全部準備をしなければいけない。当然うちのほうも入っているのですけれども、そういう形で受け入れることになってくると、各地区で受けることになりましてけれども、今会津地方はそんなに多くはないですけれども、今度郡山地区の人を受けたりしなければいけなくて、そういう意味で病床もかなり逼迫している状況ではあります。

そういう中で、結構これから年末年始の移動があるので、さらに増えていくのではないかとことです。大阪とか東京とかは自粛していますが、県内はまだしていませんけれども、関東圏と近いところがあるので、年末年始後には必ずまた増えてくるのではないかと懸念が医療関係者にはありまして、それでそういった受け入れ態勢は整えますが、すごくクラスターが起きてしまうとあっという間に出てしまうので、高齢者施設なんかかかってしまったら、あっという間に四、五十人出てしまいますから、大変なことになります。そういうふうなことが危惧されている現状があります。

そういう中で、病院の職員も年末年始に成人式があるから帰ってくるとか、帰省の要請があります。要するに帰ってくるのだけれども、どうしたらいいかと。また、職員も出かけなければいけないということもあるのですよね。葬式があって東京に行かなければいけないとか、そういう不急不要ではない方については禁止をできないので、その後感染対策をどうしようかというのは、医療と介護事業者はかなり厳しくやっているのです。そういうふうな中で、まず帰省する方については、これは独自の医療関係、うちに関連する福祉施設ですけれども、2週間前から健康チェックをしています。検温を全部やって、そして体調管理を全部つけてもらって、検温の結果を朝夕つけてもらって、そして体調はどうなのかということも全部メモしてもらって、そして人が集まるようなところとか飲み屋さんとか、そういうのは行ってないかどうかとも行動履歴簿をつけてもらう。そして、それがなかなかできない人に関しては、もう帰ってくる直前にPCR検査をやってもらうということです。そして、帰ってきて、いつからいつまで滞在をして、その間どこに行ったのか、その間、健康チェックをつけてもらったやつを最後に全部出してもらうのです。そし

て、うちのほうは情報として持っていて、何かがあったときにはそれを参考にして追跡するというにしています。

あと職員に関しても、どうしても東京方面に行かなければならないときは、原則帰ってきてから次の日から14日間休みを取ります。ところが、14日間休まれてしまうと大変なのです。それで、最近はほとんどの病院でPCR検査ができるので、症状があれば健康保険でやれるのですが、ない人は病院負担、個人負担でPCR検査をやる。そして、帰ってきて次の次の日、2日間自宅待機してもらって、3日目にPCR検査をして、その結果で陰性になれば速やかに仕事復帰するというので、14日間ではなくて5日間くらいの短縮で復帰してもらおうということでチェックをかけています。

うちの病院の場合は、入院する人は全員PCR検査をやっています。たしか12月1日から全部やっています。施設に入る高齢者施設の入所者も全部やっています。チェックして中に入れないという対策を講じてもらっています。ですから、医療関係者ですけれども、帰省する方も行く方も全て14日内の健康チェックをしてもらうということがうちは前提として、それでも駄目かもしれませんが、やっているのです。ですから、今このレジュメを拝見すると、こちらに来て会場での感染対策はしっかりやっているようですけれども、では会津管内の人がいいかどうかというのは別にしても、福島県内、福島の子供が多いので、会津以外の方については、申し訳ない、大げさかもしれませんが、やっぱりこちらに出席する方の14日前から検温とか健康チェックをしてくださいとか、その間熱発があったときは医療機関を受診して、PCR検査を受けるようお願いしますとか、こちらに出席する前の2週間の行動履歴とか、そういうものに十分に気をつけるとか、そういうふうな啓発をした上で、間違いなく問題ないということで来てもらうということのチェックがかけられるかどうか、そこまで要請していいのか、これは問題なのですけれども、うちの有能な職員ですから、これはちゃんとやれよって言えますが、こういう場合では言えるかどうか分かりませんが、そういうことのチェックをかけていかないと、この方たちが誰かがそういう行動をしていて、無症状で持ってきたときにはもう完全にこっちはアウトだと思います。ということもありますし、ちゃんとこちらでは感染対策をしましたよというふうなことを言ったとしても、持ち込むための前提条件まではやっていなかったとすれば、そこを批判されるかどうかは別にしても、そこまで一応やりましたということになれば、少しは埋もれるかもしれませんが、そこがちょっと心配かなというところもありますし、あとは前後の式典は恐らくつつがなく、きっとこれだけやると間違いなく受けたと思うのですけれども、前後の行動について自粛要請はしますけれども、これが分からない。後からばあっと誰かが出てしまったりすると、開催すること自体まで、町のほうまで批判を浴びる可能性があるのではないかとことがあるので、これは私見ですけれども、私としてはこれが必ずまだ増えていくことであるし、県知事からおうち等に対する自粛しなさいとか、緊急事態宣言が発令するかどうかは前提として、中止するとか、あるいは延期する場合はそういうふうなことは行政的にはやるとは思いますが、私としてはやっぱり開催はこの時期で、ある程度今までのように落ち着いていけばいいのですけれども、これだけ今すごく伸びてきている状況の中で、年末年始、特に年始の後、

ですからちょうどこのくらいの時期がまたかなりふえてくる可能性があるので、私個人としては先ほど14日の中での対策をきちっとするという事で帰省させるようにしていますということが前例としてあって、そして個人的には成人式の前後の行動まで自粛要請してもつかめないとすれば、そこで何か感染が起きたときには必ず一まとめでいろいろ批判的になることもあるので、私は個人的には中止をしたほうがよろしいのではないかと、そういうふうに思います。

教育長 次に委員、お願いします。

委員 今の委員の話を聞きながら、具体的な数字の例を出していただいて聞いていたのですが、ちょっと難しいかと、まだ自分の中で答えが出ない部分もあるのですが、確かに感染者数というのは増えてはいるのですが、感染経路をたどると、忘年会であったり、あと院内感染であったり、家庭内感染という長時間密接でいた方が感染しているというのが多く見られるのだなという気がするので、成人式の時間だけを見れば実質1時間で終了ということなので、開催してもいいのかなと最初は思っていたのですが、成人者というのは遠くから戻ってきたときに、どうしても前夜祭的なものをやるのではないかなというところはどうしても見えない部分があるので、そこを注意しても、どうしても若者は集まってやるだろうということを思えば、自分的にはここで中止というふうな方向ではなくて、もう一度延期という形でゴールデンウィークぐらいまででも延期をしても。成人式というのは、本人の中でも重要な儀式でもあるのですが、やっぱり二十歳まで育てた親にとっても重要な節目ではあると思うので、簡単に、一度延期はして今回ということにはなっていないのですが、再度延期というのが先ほどの委員の話を聞きながらの自分の意見です。

教育長 では次に委員、どうでしょうか。

委員 私も簡単に言ってしまうと、今の段階だと中止すべきだと。延期がもし可能であれば延期という手もあるでしょうが、理由は、私は県外がゼロだったら考えてもいいのかなと思ったのですが、県外18はかなりリスクが高いと。

もう一つ、今それぞれ委員からもありましたが、どうしても今の二十歳前後で酒飲める年頃になれば、前の日もそうだし、終わった後もそうですけれども、発生する確率高いような気がする。もし保菌というか、感染しているけれども、症状出ない人がいたら。そうしたら、やっぱりどうしても成人式が疑われるというのは間違いない。それが怖いというだけではなくて、もう一つは大体記念撮影はやらないということだから、集まってやる意味がそこまであるのかなというのが心配になります。皆さんせっかく来て写真も撮れないというのであれば、本当に顔を見て、おめでとうと言われたというだけの話になってしまうわけなので、もし延期できれば延期が一番いいかなという気がします。なので、結論的には今の段階では中止であり、可能であれば延期ということもお願いしたいと思います。

以上です。

教育長 最後に委員お願いします。

委員 かわいそうだなというのが一番なのですけれども、でも今本当にすごく日本全体が大変なときなので、やっぱり中止のほうがいいのかと思います。

ただ、私、延期をぜひやっていただければと思うのですが、例えば8月の14、15日だとか、あるいは15日だったら午前、午後とかという感じで、二十歳からちょっと離れますけれども、何かそういう形で来年はオリンピックも開催するというところでやっていますよね。そうすると、そういうのに抱き合わせてもいいのかなと思いますが、ぜひ中止ではなくやっていただきたいなと思います。

教育長 取りあえず今回1月10日が中止ということですね。

委員 はい。

教育長 延期ですね、分かりました。

私的にも、今委員言われたように、今回の成人式は中止というふうに考えておったところです。1つは、事務局には申し訳ないのですが、成人式そのものを実施する、短時間で。こういう感染予防を取ればいいのかのらうけれども、結局さっき委員が言われたように、成人式の前後、ここがなかなか心配だと。そして、会津管内が102名なのだけれども、このうち大学生が何名かおられて、恐らく東京在住の方もいると。だから、実質県外というのかな、それが20名は超えるはずですよ。

そして、なおかつ専門的なPCR検査の話も聞きましたが、若い人なんかはなかなか症状が出なくて、コロナ菌を持って歩いているということも考えられるみたいですよ。だから、そういうことを考えると、集まるのはどうかなと。

それから、終わった後もやっぱり同級会的なものをやりたくなる。これは我々が幾ら注意喚起しても、やっぱりそういう状況は起こってくるだろうと思います。だから、式そのものについて感染予防しても、そういう心配事は減らない。

私一番心配するのは、もちろんないことを願うのですが、ここでコロナが出た場合、この後高校入試、大学入試もあるのです。特に今年の中学校3年生にはコロナ関係でいろんな大会とか行事が中止になりました。そこにまた追い打ちをかけるような心配事は持ちたくないところでありまして。ということで、私は中止と考えます。

委員 中止で私もいいですけれども、この中、例えば2)のところ、もし来年延期でやるとしたら、やっぱりそこに体温チェックとか、ちゃんと氏名を書いてもらって、最新の測定した体温を記入するなど、そういうのも感染対策の中に入れてもらえばいいかなと思いますけど。

教育長 では、ここの場の教育委員会の意見としては、まず第1段階としては中止か延期でいいですよ。

(「はい」の声あり)

教育長 では、今度は今委員が言われたように、中止にするのか延期にするのか、私は中止のほうなのですけれども。

委員 可能性があれば延期というのはあるのですか。

教育長 事務局で、延期の件についてちょっと話ししてください。中止でもいいですよ。

教育文化課長 県内での話ですと、特に坂下町なんかは早い段階で来年度に2年度を一緒にやるみたいな決定をしたというのは聞いたところではありますが、それぞれネットなんかでみると中止にしたり、延期にしたりというところがあります。

延期にした場合というか、まずこちらで今年度、1月10日にやることを見込んで記念品等々、いろいろ準備したものもございます。それを来年度まで持ち越せばいいのではないかということもあるかもしれないのですが、ちょっとそれがどうなのかなというところもありまして、できれば成人証書と記念品等をお送りできればいいのかなというところがありました。

委員 代替、気持ちですか。代替、代わりになる、それを送るなら。

教育文化課長 送って成人式の代わりというか、お送りしたらいいかなというようなこともあったのですが、いつになったらコロナが収束するか、落ち着くかという見通しがなかなか持てないのかなというのが、こちらとしても計画が立てられるかなというところがありまして、先ほどゴールデンウィーク、いいのではないかというお話があったり、来年の8月のお盆の14日、15日のあたりというようなお話も出てはいますが、そういうふうに決定した市町村も全国的にはないこともないのですけれども、そこまで延ばしてその時期に落ち着くのかどうかちょっと不確かかなという心配がありまして、延期はどうかなというところがございます、実際のところは。

委員 全部準備をした後ですね。

教育文化課長 記念品も福小俵にしたのですけれども、できればそれと成人証書と町長とか教育長、町からのお祝いのメッセージぐらい添えてどうかなと思ってはいたところですが、集まりたいという思いはあるかとは思いますが、ご本人たちは。それはそれでやっていただいたらいいかなと思っています。

教育長 だから、今課長が言われたように準備した記念品をどうするか、それから果たしてコロナが収まるのかどうか、そんなところだと思う。

委員 そうすると、区切りをつけて二十歳の一応紙にしたものと福小俵と、一旦区切りをつけて。ただ、さっき言った延期というのは人が集まること自体は何かもう一回

設定してもらっても、別個にいいのかなというのを改めて伺いました。記念写真が撮ればいいのですが、そうではなければ、何かあれば延期してもそんなに意味がないのかと思います。

教育長 個人的には、取りあえず来年の8月に引っ張ったとしても、何か落ち着かないだろうというのが1つ。コロナの情勢なので、今年の方々についてはこういう状況だということで、中止で割り切ってもらえないのかなと思っています。

あと同級会的なものについては、二十歳だということで、またこれは成人式とは別枠で自分なりに実行委員会をつくってやってもそれは難しいだろうから、もう自己責任でこれはかかってもらえないということです。だから、やっぱり今の課長の考えを押しわけではないのですが、中止と。どうしても集まりの場となれば、来年の成人式の中で今年の方々が何か別な形で集まれるような機会を持つかどうか、年齢にすれば成人式ではなくてですが。

委員 また来年の人もいますから。

委員 来年の人も分からないですものね。

委員 来年と一緒にしたら。

委員 いや、でも分かるのですけれども、それをやってしまったら行政の都合ばかりだという声が絶対上がってくると思うのです。だから、もう一回延期して、それで駄目だったら、その方法に至っても、それはしようがないなと思うのですけれども、ほかでは延期しているところがあるので。

教育文化課長 例えばなのですが、今回成人証書とかそういうものは一旦お送りして、今年度の成人式中止にした分ですということで、町からおめでとうございますという気持ちはそこで伝えて、例えばゴールデンウイークとか、あとお盆とかにそういう方々にもう一回町として式典というか、集まる機会を設ける形ということもありますか。

教育長 いや、結局成人証書とかそういうものを今回渡すでしょう。そうすると、お盆に集まるというのは、結局は酒のために集まるよと言っているようなものであって、それは別に行政でやるべきものではないし、そういう機会は、自分らでやってもらえばいいわけだからと私は思っているのだけれども。

委員 いや、酒の機会ではないと思うのです。一つのやっぱり式という形で設けて。

教育長 いや、式だったら今回証書を送る。そして、その方々を来年の夏、別枠で式的なものをやるとすれば、またそれは別ものと考えられる。

委員 非常に教育長の話もすごく分かってはいるのですけれども、やめてしまえば簡単

なことだと思うのです。

委員 そうなんです。

委員 バッシングも受けないし、会津美里町としていろんなことを言われなくて済むと思うのだけれども、逆に言えば、そういう人たちに対する、では何か温かい施策というか、そういう手だてを何もしないでいいのか。ただ、いるのに申し訳ないけれども、だから今送ってしまいたいな感じで、結局そういう感じではないですか。考えてみれば、8月から1月10日になりますよというときはこんな話はしましたか。何か私覚えていないのですけれども。1月10日に延期しますみたいなの。

委員 話がなかった。

委員 私、話していないですよ。1月10日にしますという話。

委員 緊急事態宣言が出た頃ですよ、出た後ですよ。

委員 詳細な話はなかったですよ。

委員 結局先延ばしにすれば。

委員 先延ばしにする話だけはありません。

委員 先延ばしにすれば何とか対策が講じられるのではないかと。

委員 こんな詳しく、こんな座を設けてはなかったですよ。

委員 これは1月10日ぐらいに何とかなるのがならなかったと。

委員 それはしようがないところだとは思いますが、ただそういう。

委員 では、来年の5月がそれで何とかなるのかといたら、これまたきっとならないと思います。

委員 ただ、実際問題として中止したほうがいいのかなというふうには思うけれども、粹な計らいというか、そこを何か、粹な計らいが成人にやっばり生きる希望とこれからのこともあるのだと思うのです。

委員 粹な計らいは難しいからね。

委員 そうそう。

委員 いや、その粋な計らいが見えるという。

委員 粋な計らいが集まれる場が、ワクチンが多分配布されて、ワクチンが本当に全人口に行き渡るといふならば可能性はゼロではないような気がします。今回中止しないで延期でやるかといっても、それも分からないわけです。ただ、本来のやり方は、この年度中にその人たちを祝ってもらい、応援するというのが一番の趣旨なわけですから。

委員 年度内での締めですからね。

委員 だから、それが濃いか薄いかは別にしても、粋な計らいがその中でできなるとすると、そこは行政として割り切るしかないところがあるのかなという気がするのです。

結局今回のGo To トラベルをやめたのも、行政の判断が最終的に求められるわけです。だから、それは非難を覚悟の上でやるというしかないと思うのです。我々としては、今委員が言われるみたいに、少しでも子供たちのためにというふうには思いますけれども、あとはもう行政の判断でないでしょうか、最後は。

委員 最終的には町長だし、ただ私たちが教育委員としてここで話し合っているということは、では中止しましょうという形ですぐに決めれば簡単なことなのだけでも、でも私たちが、教育委員会としてやっている場合には、どうすれば粋な計らいではないけれども、子供たちに伝わるかなということは考えていって、でもやっぱり仕方ないよねというところに落ち着くのは、それは仕方がないと思うのだけれども、最初から中止ありきではないと思うけれども、そういうような気持ちもここで話し合いをして、成人の人にやっぱり送るときもそういうような気持ちがあれば、いや、本当に大変なときで申し訳ないけれども、こういうわけだからできませんが、本当にこれからも希望を持ってやっていってほしい、町としても応援していますみたいな気持ちがどこかに添えられるようになるではないですか。我々は行政ではないので、そこら辺は言わせてもらって、行政の判断は最終的にお願いします。でも、教育委員としてはそこら辺は別な面から言うというのも当然のことだと思うのです。だから、それを覆す私は権限も何もないし、ただそういうようなことを深めながら話し合いをして、仕方ない、本当に涙をのむ思い出中止せざるを得ないとなったら、やっぱりその思いは言葉の端にでもどこかに通じるはずだと思います。だから、そういうお涙頂戴ではなくて、人と人との関係を私たちは特に教育委員会なのだから、やっぱりそれは行政は最後の判断しますよね、それは当たり前なので、ただその途中経過のプロセス、こういう話し合いをいろんな角度からしていって、でも仕方ない、そこに落ち着くしかないと思いますよ。だけれども、やっぱりそこが大事だと思うのです。いつも思うのだけれども、話し合いをすると、すぐ行政側の話で総合会議のときも金がないからと言われました。そうではないではないですか。私たちの思いを伝えていって、何がしたいのか、物をくっつけておいてもらわないかという意味で

私は言っているので、絶対反対なんて言っていません。ただ、そういう会議ではないですか、ここはということです。

教育長 そうすると、ではまとめ方としては、今委員が言われた思い、やり方、これについてはこの後もし町として、これが延期でやろうとなれば、また教育委員の方々にその成人式の持ち方についてご意見をいただくという形によろしいですか。

（「はい」の声あり）

教育長 要するに今年度分についてですよ。どういう形であれば思いが伝わるのか、その辺のところも兼ねてご意見をいただきます。

 そうすると、考え方としては、来年の夏とか、ゴールデンウイークとかあったけれども、目安としては来年の夏ですね。ゴールデンウイークはちょっと時期が近しい、コロナが収まる様子もないからというところでいいですか。

委員 例えばゴールデンウイークと言っただけなので。

教育長 そうですね。ということですね。

委員 最後はもう行政の判断に任せるしかないです。それはもう私たちも言っています。

委員 仮にこれが一つの話ですけれども、成人式の式典というのがあるではないですか。町長をはじめ来賓がいて、そしてそういった方からの挨拶をいただいて、いろいろ励ましの言葉ももらいますね。そういう会場、場であって、そのことを皆さんに直接伝えるというのが成人式として行政が行うものであれば、それに代わるものというのは何だというときに、こんな状態で集まれないので、町長のメッセージを録音でしたか、撮って、あとは仮に議長とか、教育長の成人者に対するメッセージを送って、それをCD-ROMか何かにして一緒に送るとか、それを見ていただいて、一堂に集まれないかもしれないが、同じところに集まるとリスクが高まるので、お互いのためにも、高齢者の方のためにもやっぱり集まれない状況があるので、会場と同じような状況の流れというか、そういったメッセージをCDの中に入れて、それを一緒に送ってあげれば、今言ったような思いが、あとはその方がうちでとか自分のアパートか何かでみんなパソコン持っているので、それを見ていただくということでこちらの思いを伝えるということであれば、さっき言った粋な計らいかどうか分からないのですが、そういうことが一緒に集まれないということがリスクがあるのであれば、分散して、同じようなことをおのおのが感じ取ってもらうというようなことをやるには、そういったメッセージ、CD-ROMなんかを作って、お金がかかるかもしれませんが、一緒に送ったらどうでしょうか。

教育文化課長 ほかの市町村で中止にしたところだと、ホームページとか何かで見られるようにオンラインで市長のメッセージだとか、そういうのを見られるような形にすると

というのはやっていますので、先ほど私、町長とか教育長のメッセージを添えてはどうかと思っているという話をしたのですが、一緒に送るのか、オンライン上でおめでとうという町としての気持ちをお伝えするのかという手だてとしては幾つかあるかと思います。今委員がおっしゃられたとおり、CDとかに焼いて、それも一緒に送るという部分もあるかとは思いますが、結構今オンラインで配信して、どこにいても見られるというような形で、中止した市町村なんかはやっているところもありますので、今すぐできるのかどうかちょっとあれなのですが、ただ町としての気持ちを伝える手だてはあるのかなとは思っています。

委員 中学校で言っていたではないですか。中学校も3年生とか2年生に、そんな時間を取らないで成人の先輩たちを送る言葉みたいにして、みんなで何か考えてもらって言ってもらって、それを一緒に入れたりとか、本郷中学校の出身の人は3年生からのメッセージをもらうとか、町長とか以外にですよ。そういったことも考えてもそんな大きな負担ではないような気がするのです。だから、本当に集まるという意味が直接伝えるということであれば、それが今伝えられないので間接的に伝えるということを考えていけば、では来年の5月がいいのか、8月がいいのかと分からないのですよね。そこで延期して行って、またそこでできなかつたら、また延期になっていくということになると、どこかで一回節目はつけなければいけないのではないかなと思います。

委員 今の委員の意見でいいのではないのでしょうか、もしできれば。

委員 本当に証書と俵で、あと紙で書いたりして送るのもいいかもしれませんが。

教育長 では、まずは中止の方向で、そしてそこに委員の思いとかそういうのもあって、俵プラスオンラインプラスDVDか、それから恩師のメッセージとか、そういうものを添えて、なおかつ町長のメッセージも添えてやりたいということでもいいですか。

委員 そうすると、伝わると思うのです。本当はみんな集まってやるのが一番いい。だから、勢いで皆さんが見に行ったりするのだから、それは別にすることであって。

委員 ただ、今の形式でやるとすると延期はないということですね。

教育長 延期はないということで中止、それが前提です。

委員 そこまでやれば延期する理由がないということでしょうから。

教育長 これからオンラインとかそういう設定はちょっとご苦労いただくことになるけれども。

教育文化課長補佐 今お話がありました、例えば町長からのメッセージや恩師のメッセージについて

でももう私どものほうで入手しております。恩師のメッセージについては、恩師のご承諾をいただければ、町長のメッセージと併せて配信できる形で対応を検討したいと。できると思うのですが、ちょっと確認をしながら実施していきたいというふうに思っております。

あと先ほど教育長からもありましたように、例えば成人証書と俵ですけれども、それについては、例えば1月10日付で発送するとか、1月中に発送するとかで対応させていただいて、成人式の式典については町長から教育長連名でこういうことだという理由書をつけて送らせていただきたいというのが1つ。

今言ったメッセージについては、その文書の中にホームページ上でアップしているので、ぜひ御覧いただきたいというようなことでもよろしいのかなと今思ったものですから、そういう形での対応も検討します。

委員 そうすると、小中の恩師のメッセージもらったら、それはより以上のものになるのではないかという気がしますけれども。

教育長 では、あと何かそこにプラスアルファすることはありますか。大体今課長補佐から話があったような形で進めてよろしいですか。

（「はい」の声あり）

教育長 では、そういうことでよろしく願いいたします。
ちょっと休憩しますか。それでは、11時まで休憩とします。

休 憩 午前10時52分

再 開 午前10時59分

教育長 では、再開させていただきます。
「(1) 本町学校教育が抱える課題等について」は、会津美里町教育委員会会議規則第16条第1項に基づき非公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 時間もないですので、最後その他いいですか。

（「なし」の声あり）

教育長 事務局でその他ありますか。

教育文化課長 ICTは報告事項なので御覧いただければと思います。

3. 報告事項

教育長 3番目の報告事項のその他。

教育文化課長 ないです。

教育長 次回の教育委員会の連絡か何か。

教育文化課長補佐 いえ、特にありません。22日なのですが、今週中には何とか資料をお送りしたいと思います。議案はそれほど多くはありませんが、協議事項が3件ないし4件予定しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

教育文化課長 時間がかかるかと思ひます。

教育長 就学支援か何か。

教育文化課長 議案はそうです。議案は時間かからないですが、協議事項があるので。それではよろしいでしょうか。

教育長 はい。

4. 閉会

教育文化課長 それでは、本日は臨時会ということでお集まりいただきまして、ありがとうございました。これをもちまして本日の臨時会を閉じたいと思ひます。どうもありがとうございました。

○閉会時刻 午後零時15分